

品番 **NNNS (H) 12623B NNNS (H) 12623W**

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

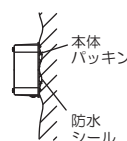
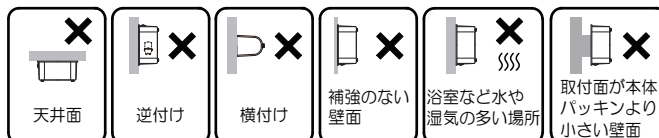
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- この器具は防雨型器具です。サウナなどの高温になる場所、浴場では使用しない。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の改造および構成部品(ソケットなど)の交換をしない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 壁面取付専用器具です。右図の様な場所には取り付けない。
右図のような場所や方向に取り付けると、落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)の電源で使用する。火災・感電の原因となります。
- 必ず本体バックインと取付面との隙間を防水シールなどで埋める。
防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

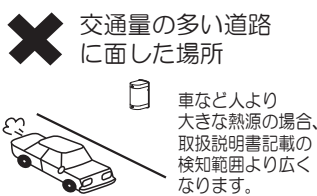
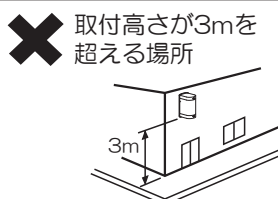
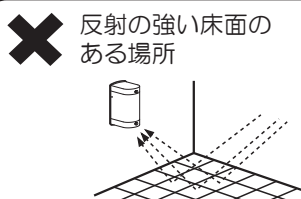


⚠ 注意

- 周囲温度は、0~35℃で使用する。指定外の周囲温度で使用するすると火災の原因となります。
- 湿気の多い場所、振動のある場所、粉塵の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災・ランプ短寿命の原因となります。
- ライトコントロール等の調光器やアかりモコンアダプタとの併用はしないでください。
破損・発煙・短寿命の原因となります。
- 接地工事は電気設備基準にしたがって確実に行ってください。接地が不完全な場合、感電の原因となります。
- 器具に直射日光が当たる状態で点灯させないでください。温度上昇によるランプの短寿命や一時的な明るさ低下・不点灯の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

取付場所について

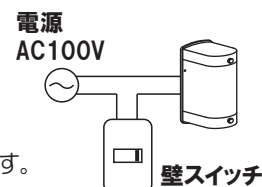
- センサの検知性能をより確実にするため器具の取付位置は、「センサの検知範囲」(P3)、「設定の方法」(P3)の項目をよくご覧のうえ、設定してください。
- 次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。



- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

配線について

- 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)
センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
- ほたるスイッチと接続する場合は器具1台につき、スイッチ3個までで、ご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。
(故障ではありません)
- 通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

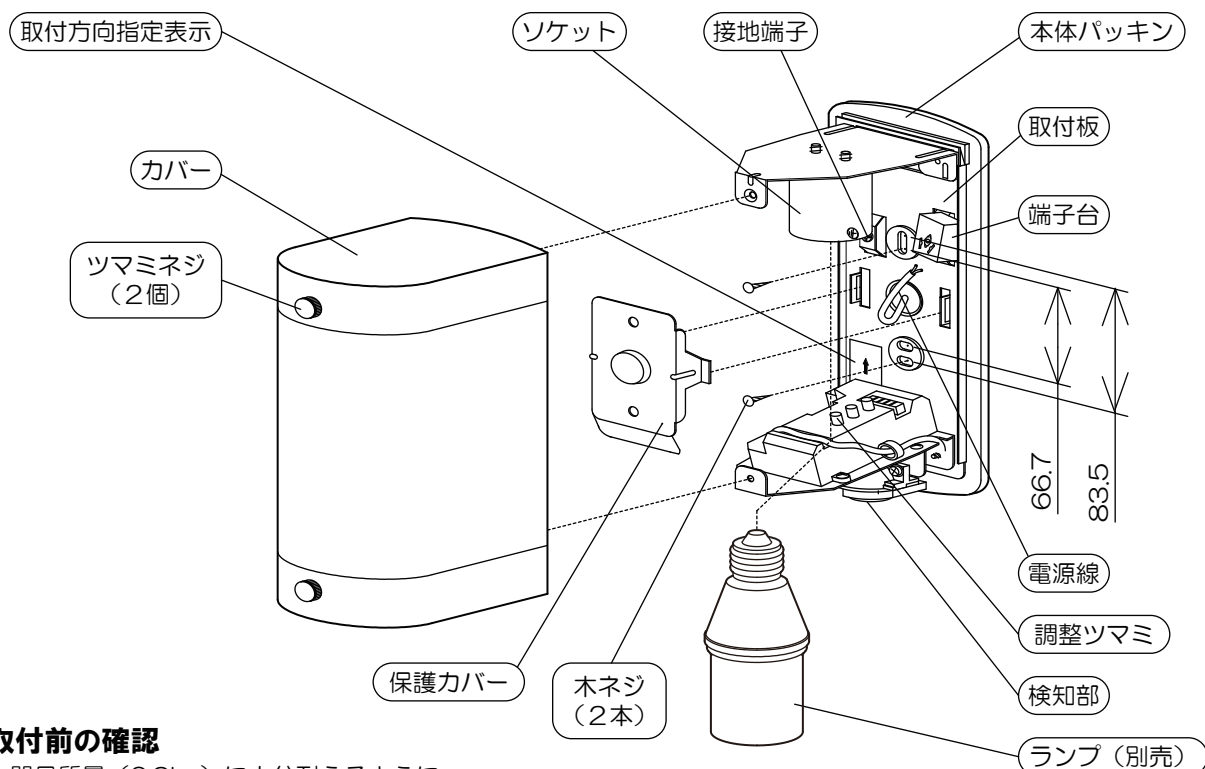


各部のなまえと取付方法



警告

施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。



1 取付前の確認

- 器具質量 (0.9kg) に十分耐えるように、取付部の強度を確保してください。
不備がありますと落下の原因となります。

2 取付板を取り付ける

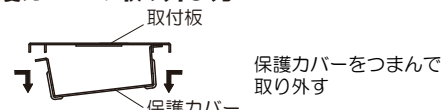
- ツマミネジをゆるめてカバーを取り外してください。
- 保護カバーを取り外してください。
- 電源線を取付板の電源穴より引き込んでください。
- 取付方向指定表示にしたがい、付属の木ネジ2本で壁面内の補強材のある位置に確実に取り付けてください。
- ベニヤ板など薄い壁材へは取り付けないでください。
不備がありますと落下の原因となります。

3 電源線・アース線を接続する

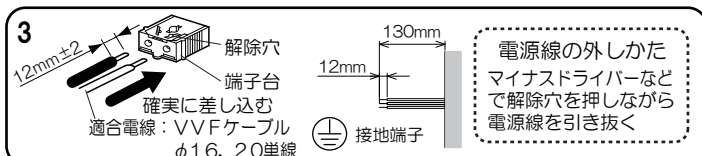
- 電源線を差し込み穴の奥まで確実に差し込んでください。
- 接地端子を使用してD種 (第3種) 接地工事を行ってください。
不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- 取付部及び電源線貫通部を防水シールなどで埋めてください。
防水が不完全な場合、浸水・火災・感電の原因となります。

- 保護カバーをはめ込み電源線を保護してください。
不備がありますと火災・感電・落下の原因となります。

2 保護カバーの取り外し方



3 保護カバーの取り付け方



4 ランプ (別売)を確実に取り付ける

不備がありますと火災・落下の原因となります。

5 検知部の調整と調整ツマミを設定する

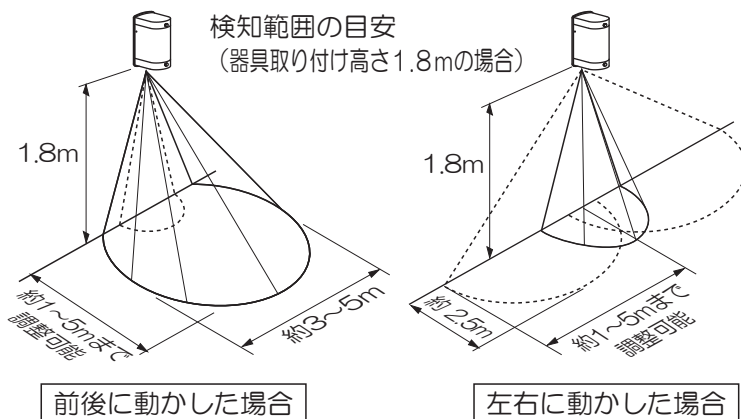
- 「設定の方法」 (P3) を参照して設定してください。

6 カバーを取り付ける

- カバーをツマミネジで確実に固定してください。
ねじ込みが不完全ですと防水効果を損ない、落下・感電・火災の原因となります。

センサの検知範囲

- センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。
(センサの検知部は全方向に約20度動きます)
- 器具の取り付け高さ1.8m(標準)～3mの間では、検知範囲は変わりません。



ご注意

この照明器具のセンサは熱源の温度変化を動きとして捉えます。そのため人以外にも動植物、自動車なども検知します。また周囲条件(気温、地面の状態、取り付け高さなど)、進入する人の状態(服装、移動速度、進入方向、体温など)により検知範囲が大きく変化します。

●検知範囲が広がる場合

- ・冬場など気温と体温の差が大きいとき
- ・人よりも大きな熱源(車など)が移動したとき

●検知しない、検知感度が鈍い場合

- ・人が静止しているとき
- ・周りが明るいとき
- ・夏場など気温が体温に近づいたとき
- ・センサに向かってまっすぐ近づいたとき

●勝手に点灯する場合

- ・道路を通行する人、車、犬、猫などを検知したとき
- ・風、雨、木のゆれなどを検知したとき
- ・急激な温度変化を検知したとき
- ・換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの温度変化の影響を受けたとき
- ・ごく短い停電(瞬時停電)が発生したとき

設定の方法

※検知範囲の設定は、昼間に行うこともできます。

電源がOFFになっていることを確認してください。

1 カバーを取り外す

「各部のなまえと取付方法」(P2)を参照してカバーを取り外してください。

2 検知範囲を調整し、点灯確認する

(1) 調整ツマミの設定を変更する

- ・点灯する周囲の明るさを「テスト」(右いっぱい)に回す。
- ・お出迎え時間を「切」(左いっぱい)に回す。

(2) 検知範囲を調整する

- ・検知部を動かして現場に合った検知範囲を設定してください。

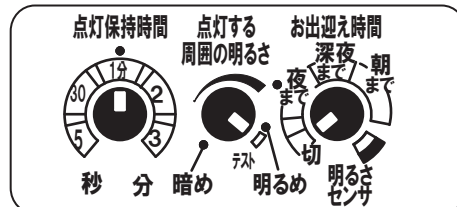
(3) 電源をONにし、検知範囲の外へ出て待ち、約40秒後に消灯することを確認する。

- ・消灯しない場合は次のような要因が考えられますので処置を施してください。
- ・お出迎え時間が「切」になっていない → 「切」にする
- ・センサ検知範囲は、「センサの検知範囲」(P3)を参照ください。

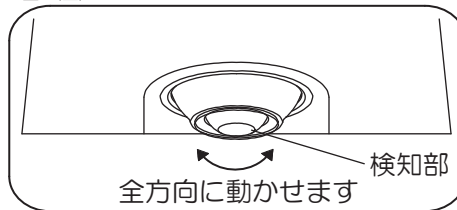
(4) 消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

- ・センサの検知範囲の外に出てから約5秒後に消灯します。

2-(1)



2-(2)



3 一旦、電源をOFFにする

4 調整ツマミを使用状態に設定する

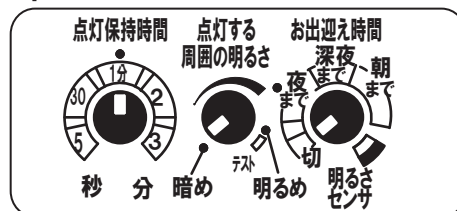
「この器具の3つのモードについて」(P5)を参照し、どのモードで使用されるかを必ず検討の上、調整ツマミの設定を行ってください。(右記の設定では暗くなって人が近づいたときだけ点灯します。)

5 カバーを取り付ける

「各部のなまえと取付方法」(P2)を参照してカバーを取り付けてください。

6 電源をONにする

4



- ・点灯保持時間を「1分」にする。
- ・点灯する周囲の明るさを「暗め」にする。
- ・お出迎え時間を「切」にする。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品(ソケットなど)の交換をしないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。火災・感電の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、^{*}外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命は短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 器具に振動や衝撃を与えないでください。落下・破損によるけが・ランプ短寿命の原因となります。
- 周辺温度の違いにより、明るさや光色が若干変化します。

■LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推測したものです。

使用上のご注意

- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換

⚠ 注意 必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

<器具の清掃について>

水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
ホース水流で洗淨しないでください。浸水の原因となります。



<ランプ交換について>

- ・ランプの明るさが低下すると、ランプの寿命です。ランプを交換してください。
 - ・本体表示にしたがって、指定されたパナソニック製ランプを使用してください。
- LED電球専用器具です。白熱灯、電球形蛍光灯は使用できません。

⚠ 警告

指定以外のランプを使用しますと
火災の原因となります。

⚠ 注意

点灯中や消灯直後、ランプは高温になっていますので
さわらないでください。やけどの原因となります。

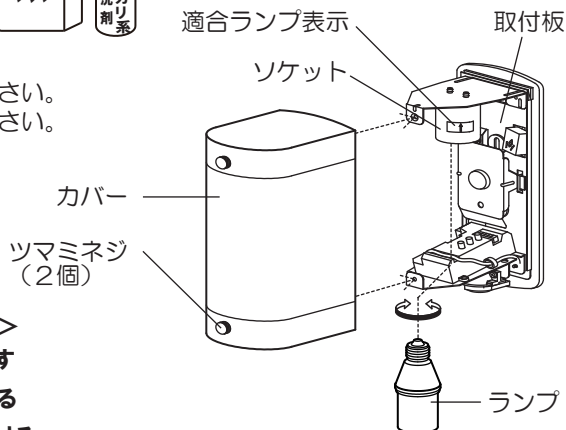
適合ランプ(LED電球(E26):別売)

- ・LDT6L-G/S/T6 (6.4W)
- ・LDT6N-G/S/T6 (6.0W)
- ・LDT6D-G/S/T6 (6.0W)

<ランプ交換方法>

- 1.カバーを取り外す
- 2.ランプを交換する
- 3.カバーを取り付ける

カバーをツマミネジで確実に固定してください。
ねじ込みが不完全ですと防水効果を損ない、
火災・感電・落下の原因となります。



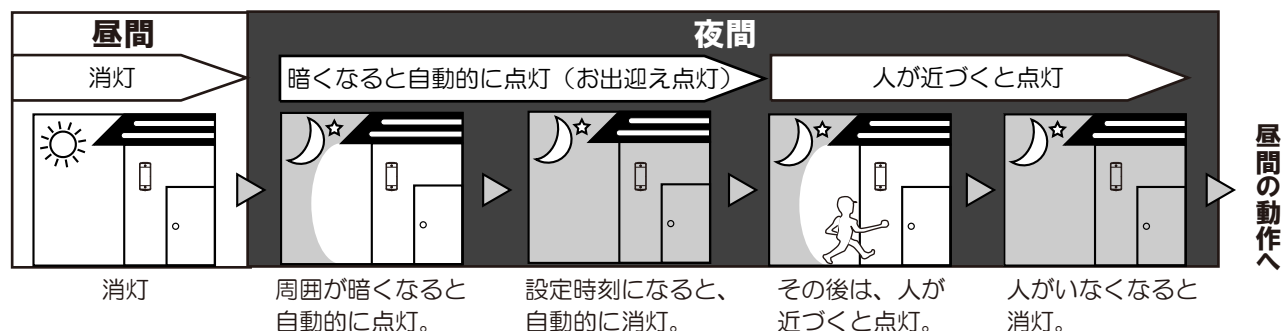
この器具の3つのモードについて

- 壁スイッチは常時ONで使用してください。
センサのはたらきにより、自動的に点灯、消灯します。
- ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、器具本体に内蔵している調整つまみを設定してください。
3種類の使い方が選べます。

お出迎えモード

の動作説明

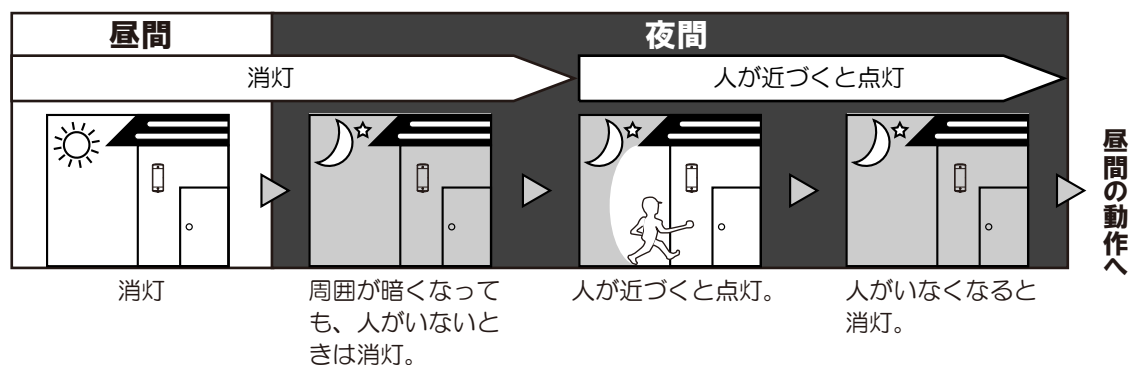
調整つまみの設定方法  6ページ



ON/OFFモード

の動作説明

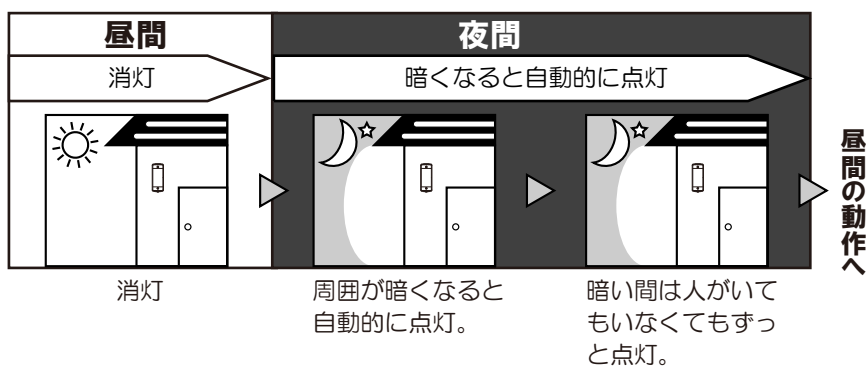
調整つまみの設定方法  7ページ



明るさセンサモード

の動作説明

調整つまみの設定方法  8ページ



お出迎えモードの調節

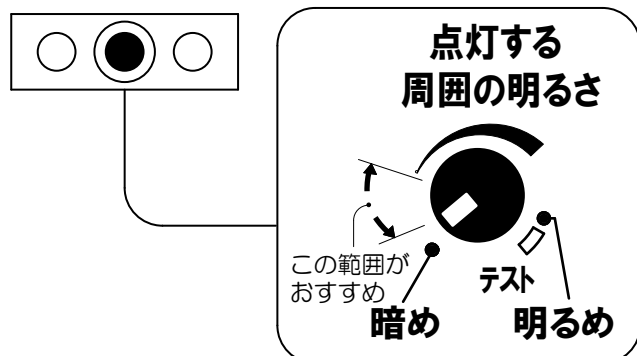
お出迎えモードは、夕方になると人がいなくてもお出迎え点灯させる使い方です。

お出迎えモード の動作説明

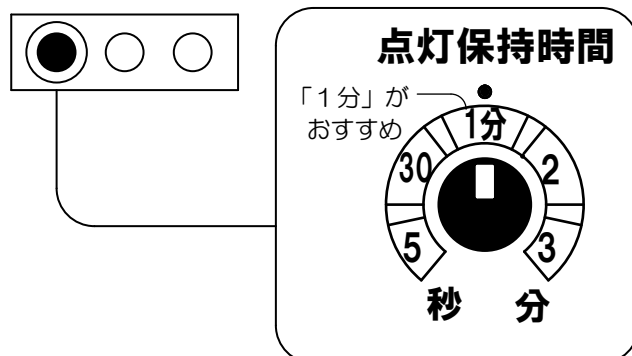


電源をOFFにして、カバーを取り外してください。（P2参照）

- 1 点灯する周囲の明るさツマミで、「お出迎え点灯」が始まる周囲の明るさを設定する
- 2 お出迎え時間ツマミでお出迎え点灯が終わる時間を設定する。
- 3 点灯保持時間ツマミで、お出迎え点灯終了後人が離れてから消灯するまでの時間を設定する。
- 4 カバーを取り付ける。（P2参照）
- 5 電源をONにする。
注）電源をONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

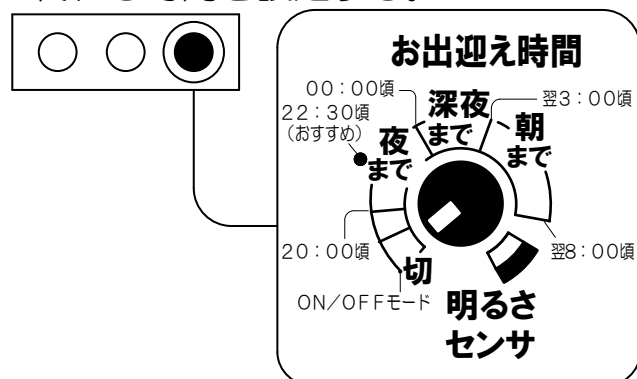


- ・右いっぱい（「テスト」まで）に回すと、周囲の明るさに関係なく動作ようになります。この場合、人がいなかった後の点灯時間は約5秒となります。



- 4 カバーを取り付ける。（P2参照）

- 2 お出迎え時間ツマミでお出迎え点灯が終わる時間を設定する。



- ・上記時間は 1 のおすすめ範囲で実施した時の目安時間です。
- ・地域や天候により、時刻は約1時間ほどずれる場合があります。
- ・ツマミの設定を途中で変更した場合、お出迎え点灯が終わる時間は翌日から正常に動作します。

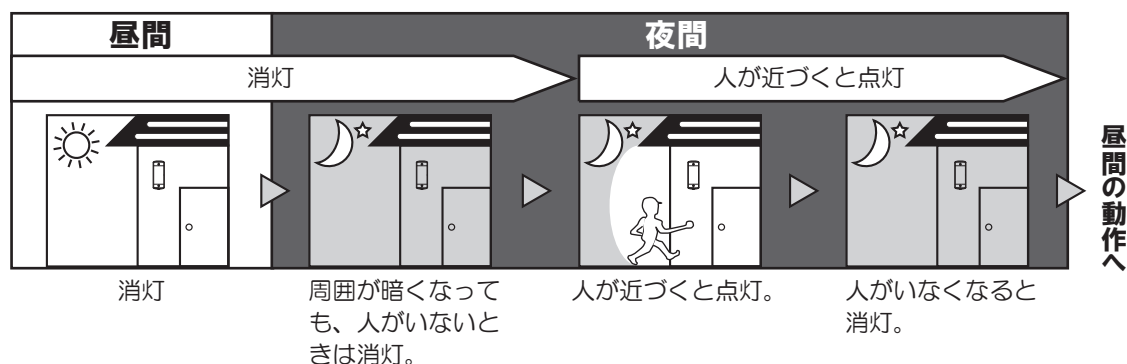
注）電源をONにした初日は、手順2で設定した時刻に関係なく、お出迎え点灯は約4時間で終了します。翌日より設定した時間通り終了します。

注）電源は、常時ONでお使いください。電源をOFFにすると、再びONにした初日のお出迎え点灯は約4時間で終了します。

ON/OFFモードの調節

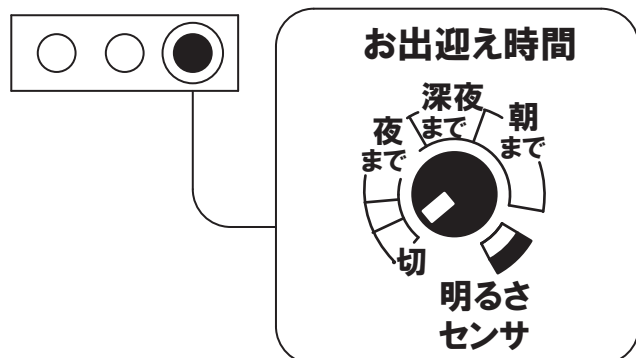
ON/OFFモードは、人が近づいたときのみ点灯し、離れると消灯するシンプルな使い方です。

ON/OFFモード の動作説明

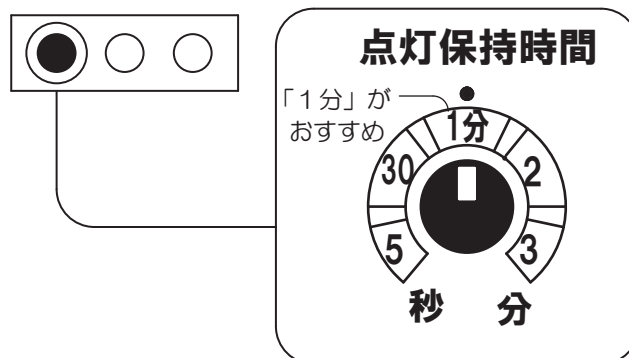


電源をOFFにして、カバーを取り外してください。(P2参照)

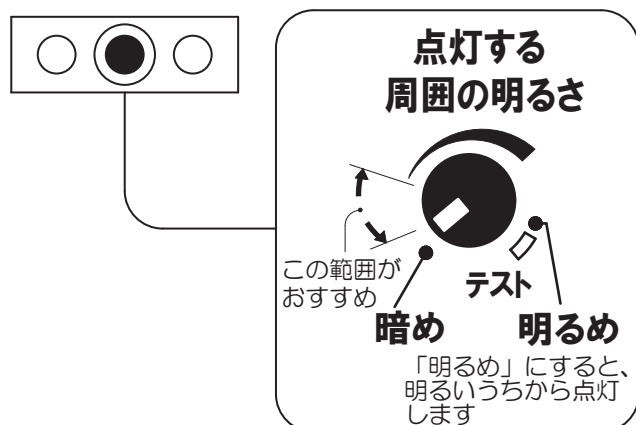
1 お出迎え時間ツマミを「切」にする。



3 点灯保持時間ツマミで、人が離れてから消灯するまでの時間を設定する。



2 点灯する周囲の明るさツマミで点灯する基準の周囲の明るさを設定する。



4 カバーを取り付ける。(P2参照)

5 電源をONにする。

注) 電源をONにした直後は、周囲の明るさに関係なく約40秒間点灯します。

- 右いっぱい(「テスト」まで)に回すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。この場合、人がいなくなった後の点灯時間は約5秒となります。

注) 電源は常時ONでご使用ください。

注) 点灯中に検知範囲に人が入ると、点灯保持時間は延長されます。

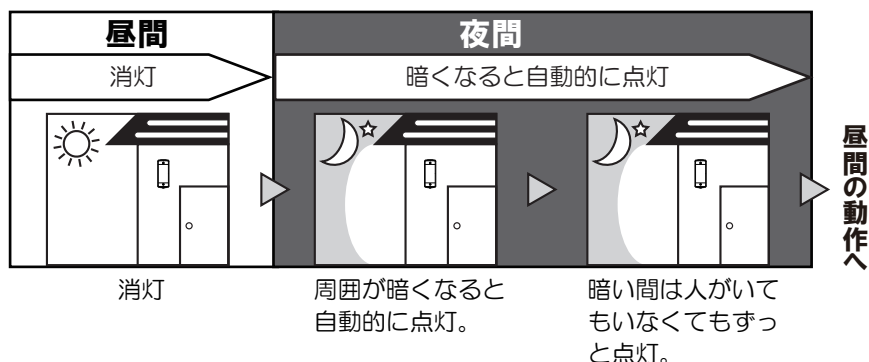
注) 点灯保持時間を短く設定している場合は、点滅回数が多くなるためランプの寿命は短くなります。

注) 人通りの多い場所では、点滅回数が多くなるためランプの寿命は短くなります。

明るさセンサモードの調節

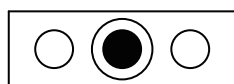
明るさセンサモードは、夕方になると人がいなくてもお出迎え点灯、明るくなると消灯させる使い方です。

明るさセンサモード の動作説明



電源をOFFにして、カバーを取り外してください。(P2参照)

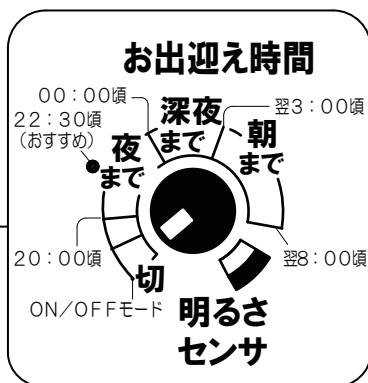
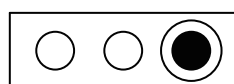
- 1 点灯する周囲の明るさツマミで、点灯する基準の周囲の明るさを設定する



・右いっぱい(「テスト」まで)に回して使用しないでください。明るさセンサーの誤動作の原因になります。



- 2 お出迎え時間ツマミを右いっぱいに回し「明るさセンサ」に設定する



- 3 カバーを取り付ける (P2参照)

- 4 電源をONにする

注) 電源をONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

※周囲が明るいときにセンサ部分を手で覆うなどして点灯させた場合、点灯後にセンサ部分から手を離しても、点灯開始から約2時間は消灯しません。消灯させる場合は一旦壁スイッチをOFFにしてください。

注) 電源は常時ONでご使用ください。

故障かな？と思ったら（下記の点検をお願いします）

- 異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。
- 正常に戻らない場合は、電源をOFFにして（5秒以上）再びONにしてみてください。
- 電源は通常は必ず昼間でもONのままにしておいてください。（昼間は自動的に消灯します）

現 象	考えられる原因	処 置
人を検知しているのに点灯しない	電源がOFFになっている	⇒ 電源をONにする
	ランプが切れている	⇒ ランプを交換する（P4参照）
	⇒ 点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	⇒ 点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」側（右方向）に少しまわす（P6、7参照）
	⇒ 人が静止している	⇒ 静止している人は検知できません
人が近づいても検知しにくい	⇒ 検知範囲が適切でない	⇒ 検知範囲を調整する（検知部を動かす）（P3参照）
	⇒ 検知部がよごれていたり蒸気などによる水滴がついている	⇒ 検知部を柔らかい布で傷がつかないようにふく
	⇒ 検知しにくい条件となっている	⇒ 故障ではありません（P3参照）
検知範囲に人がいないのに点灯している	⇒ 検知範囲内に人以外の熱源がある（例）白熱灯照明器具、エアコンの吹き出し口、風などでよく揺れるもの（植木、旗など）車の熱やヘッドライト、犬や猫などの動物、強い風、雨、雷 など	⇒ 人がいる／いないは温度変化量で検知されるため、左記の要因で検知範囲内の温度に変化があった場合はセンサが反応することがあります（故障ではありません）
	⇒ お出迎え時間ツマミが「明るさセンサ」になっている（明るさセンサモードになっている）	⇒ お出迎え時間ツマミを「明るさセンサ」以外の位置にする。
	⇒ お出迎え点灯中である	⇒ お出迎え点灯中は人のいる、いないにかかわらず点灯状態となります
	⇒ 電源をONにした直後又は停電が回復した直後（検知部が赤く点滅している）	⇒ 電源ON後、約40秒間は必ず点灯します
周囲が暗くなってもお出迎え点灯しない（消灯状態である） 「お出迎えモード」でお使いの場合	⇒ お出迎え時間ツマミが「切」になっている（ON/OFFモードになっている）	⇒ お出迎え時間ツマミを「切」以外に変更する（P6参照）
	⇒ 点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさよりも周囲が明るい	⇒ 点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」側（右方向）に回す（P6参照）
周囲が明るいのにお出迎え点灯している 「お出迎えモード」でお使いの場合	⇒ 点灯する周囲の明るさツマミが「明るめ」になっている	⇒ 点灯する周囲の明るさツマミを「暗め」側（左方向）に回す（P6参照）
	⇒ 器具の設置場所が暗い（昼間でも暗い）	⇒ 商品の性能上「お出迎えモード」が正常に動作しませんので、お出迎え時間ツマミを「切」にして「ON/OFFモード」でご使用ください
	⇒ なんらかの要因により約5分間周囲が暗い状態が続いた	⇒ 電源を一旦OFFにし（5秒以上）再びONにする
お出迎え点灯の終わる時間が設定より早い／遅い 「お出迎えモード」でお使いの場合	⇒ 天候などで周囲が暗くなる時刻が通常より早かった／遅かった	⇒ 商品の性能上お出迎え点灯の終了時間がばらつくことがあります。
	⇒ 電源を一旦OFFにした（電源はONのままお使いください）	⇒ 再度ONしてください。この場合、初日のお出迎え時間は4時間に固定され、翌日より設定通りの時間に戻ります

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店、電器店にご相談ください。

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048
お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター

0120-878-709（フリーダイヤル） 0120-872-460（FAX）

取説No.NNNS12623B-TB2 M1214-021018